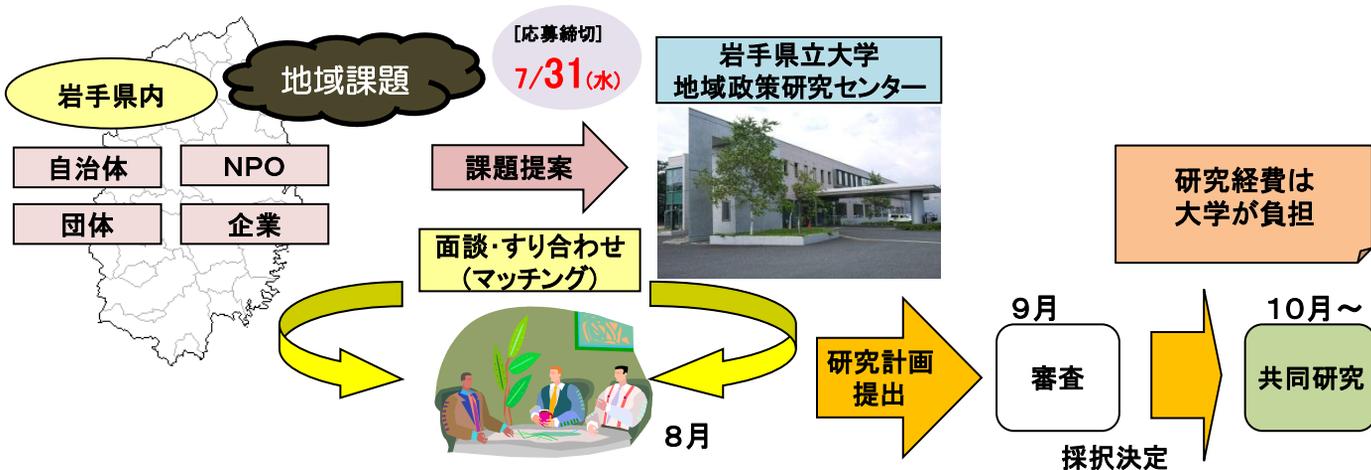


みなさまの地域をもっと良くするために、 岩手県立大学が課題解決と一緒に取組みます!

平成25年度地域政策研究センター地域協働研究(地域提案型・後期) 地域が抱える課題を募集します!

岩手県立大学では、地域のシンクタンクの機能を担い、地域課題の解決に貢献するため、平成23年度に「地域政策研究センター」を設置しました。本センターでは、平成24年度から、自治体・NPO・企業などが抱える「地域課題」を研究課題として提案いただき、本学の研究予算により大学と共同で研究を実施することにより課題解決を目指す「地域協働研究(地域提案型)」を実施しています。

つきましては、以下により「地域課題」の募集を行いますので、多数応募いただくようお願いいたします。



【募集内容】

- (1) **募集期間** <後期>平成25年7月1日(月)から平成25年7月31日(水)まで
- (2) **募集課題**
 - ① **対象** 募集する研究課題は次の全てに該当するものとします。
 - ア 県内の自治体やNPO・団体、企業が抱える「地域課題」とし、平成25年6月頃から研究に着手可能な課題とします。なお、民間企業についても、「地域課題」の解決に資する研究のみを対象とします。
 - イ 県立大学との研究を通じて得られた研究成果をいかし、ご提案いただいた方自らが、県内において課題解決に向けた具体的な取組みや活動を予定する研究課題とします。
 - ウ 特に分野などの制限はありませんが、県立大学の各学部(看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部、共通教育センター)、盛岡短期大学部(生活科学科、国際文化学科)及び宮古短期大学部(経営情報学科)の研究者が対応できる研究課題とします。
 - ② **研究期間** 平成25年10月～平成26年9月(12ヶ月)
 - ③ **負担金** 本学の研究に必要な費用は県立大学で負担します。(1件あたり500千円以内)
※ただし、共同研究に際し、提案者にかかる旅費等の費用は負担いただけます。
- (3) **応募資格** 岩手県内に所在する自治体やNPO・団体、企業とし、提案いただいた研究課題について共同で調査・研究が可能であり、得られた研究成果により主体的に課題解決の取組みを実行できる者とします。(原則、事業を営まない個人は除きます。)
※県内に拠点を有する企業や団体等で規模等の制限はありません。
- (4) **応募方法** 岩手県立大学地域政策研究センターのホームページより提案書様式をダウンロードし、下記連絡先に郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法で申込み願います。
<ホームページ:http://www.iwate-pu.ac.jp/contribution/H25-chiikiteian-kouki-koubo.html>

(5) 問い合わせ及び申込み先

〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巢子152-89

公立大学法人岩手県立大学 地域連携室 担当 上野山

TEL 019-694-3330 FAX 019-694-3331 E-mail uenoyama@ipu-office.iwate-pu.ac.jp

平成24年度に採択された地域提案型・研究課題一覧

●平成24年度前期採択（研究期間：平成24年8月～平成25年3月）

- 01.岩手沿岸における震災復興ビジネスの成果と限界
～岩手県における人口の社会減対策の強化に向けた課題整理～
(課題提案者：岩手県政策推進室、担当教員：総合政策学部・准教授・栗田但馬)
- 02.被災地における絶滅危惧植物ミズアオイとビオトープの再生
(課題提案者：NPO法人AEA、担当教員：総合政策学部・教授・平塚明)
- 03.岩手県災害派遣福祉チームについて
(課題提案者：岩手県社会福祉協議会、担当教員：社会福祉学部・准教授・都築光一)
- 04.復興支援活動における行政と民間の協働のあり方に関する研究
(課題提案者：一般社団法人東日本絆コーディネーションセンター、担当教員：総合政策学部・准教授・西出順郎)
- 05.被災地の復興まちづくりにおけるユニバーサルデザインの課題について
(課題提案者：岩手県地域福祉課、担当教員：社会福祉学部・教授・狩野徹)
- 06.防災行政無線に合成音を用いるための最適制御法に関する研究
(課題提案者：滝沢村企画総務課、担当教員：ソフトウェア情報学部・教授・伊藤憲三)
- 07.福祉NPOの自主事業開発における戦略的課題について
(課題提案者：NPO法人いわてユニバーサルデザインセンター、担当教員：社会福祉学部・教授・宮城好郎)
- 08.子ども・子育て家庭支援に向けた地域連携に関する研究
(課題提案者：洋野町福祉課、担当教員：社会福祉学部・准教授・山本克彦)
- 09.電子カルテ導入前後での職員の業務量の比較と効果的な人材配置の検討
(課題提案者：盛岡赤十字病院、担当教員：看護学部・教授・山内一史)
- 10.岩手県における若年性認知症の本人と家族の支援について
(課題提案者：認知症の人と家族の会岩手県支部、担当教員：社会福祉学部・准教授・藤野好美)
- 11.失語症者における聴覚機能に関する研究
(課題提案者：いわてリハビリテーションセンター、担当教員：社会福祉学部・教授・米本清)
- 12.いわて三陸オリジナルのジオツーリズムプログラムの開発と実践
(課題提案者：いわて三陸ジオパーク推進協議会、担当教員：総合政策学部・准教授・伊藤英之)
- 13.歴史に学ぶ「女性と復興」～昭和と三陸大津波と家族、共同体～
(課題提案者：岩手女性史を紡ぐ会、担当教員：宮古短期大学部・教授・植田眞弘)
- 14.伝統芸能伝承のための『音』に関する研究～音の伝承方法について～
(課題提案者：種中海鳴太鼓、担当教員：ソフトウェア情報学部・講師・松田浩一)
- 15.中津川における小型淡水魚類の生息状況の把握と減少原因の解明
(課題提案者：NPO法人もりおか中津川の会、担当教員：総合政策学部・講師・辻盛生)
- 16.県央地域における「南部生パスタ」を題材とした地域振興に関する研究
(課題提案者：岩手県産業経済交流課、担当教員：総合政策学部・教授・吉野英岐)
- 17.サポート拠点の効果的な整備及び運営について
(課題提案者：大槌町福祉課、担当教員：社会福祉学部・教授・狩野徹)
- 18.人口構成の変化を考慮した地域政策形成に関する研究
(課題提案者：岩手県政策推進室、担当教員：総合政策学部・准教授・堀籠義裕)
- 19.まちづくり・地域づくりにおける歴史文化遺産の活用～史跡を中心に～
(課題提案者：盛岡市教育委員会歴史文化課、担当教員：総合政策学部・教授・倉原宗孝)
- 20.盛岡市内におけるカラスの行動分析と可視化
(課題提案者：盛岡市環境企画課、担当教員：ソフトウェア情報学部・講師・瀬川典久)
- 21.コールセンターを核とした地域連携と地域振興
(課題提案者：洋野町特定政策推進室、担当教員：宮古短期大学部・准教授・岩田智)



●平成24年度後期採択（研究期間：平成24年11月～平成25年10月）

- 01.被災地における交流事業への高齢者参加促進システムの有効性検証 ～予約・備忘通知機能を活用して～
(課題提案者：株式会社ぴーぷる、担当教員：社会福祉学部・教授・小川晃子)
- 02.東日本大震災津波における福祉避難所の状況と課題について
(課題提案者：岩手県保健福祉部、担当教員：社会福祉学部・准教授・細田重憲)
- 03.物語自動生成機能を持った博物館展示ナビゲーションシステム
(課題提案者：盛岡市教育委員会歴史文化課、担当教員：ソフトウェア情報学部・教授・小方孝)
- 04.岩手県の「森林公園」の管理に関する研究～絶滅危惧植物の公開と保全について～
(課題提案者：小岩井農牧株式会社(岩手県滝沢森林公園 指定管理者)、担当教員：総合政策学部・教授・平塚明)
- 05.観光資源「室根山」を活用した地域活性化へのアプローチ
(課題提案者：一関市役所室根支所産業経済課、担当教員：総合政策学部・教授・吉野英岐)
- 06.再生可能エネルギーの導入促進による金ヶ崎町の内発的発展に向けた基礎調査
(課題提案者：金ヶ崎町総合政策課、担当教員：総合政策学部・講師・茅野恒秀)
- 07.滝沢村における木質バイオマスエネルギー(薪)の利用促進に関する研究
(課題提案者：NPO法人グリーンマイル、担当教員：総合政策学部・教授・渋谷晃太郎)
- 08.釜石におけるスポーツイベントに向けたラグビー民俗誌の作成
(課題提案者：釜石シーウェイブスRFC、担当教員：盛岡短期大学部・准教授・原英子)